

報道関係者各位

2017年9月25日
アジア・アントレプレナーシップ・アワード運営委員会
三井不動産株式会社
国立大学法人東京大学産学協創推進本部
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ
日本ベンチャー学会

アジア 15 カ国・地域からロボティクス、ヘルスケア、AI など技術系ベンチャー企業 21 社が集結

第6回『アジア・アントレプレナーシップ・アワード 2017 (AEA)』開催

アジアの技術系ベンチャー企業と国内企業の事業連携を支援

アジア・アントレプレナーシップ・アワード運営委員会は、第6回「アジア・アントレプレナーシップ・アワード 2017(以下:AEA)」を柏の葉キャンパス(千葉県柏市)にて2017年10月25日(水)~27日(金)に開催します。

第6回大会となる今回は、アジアを中心とする15の国と地域から選出された注目の技術系ベンチャー企業21社が本アワードにエントリーしました。日本からは、エルピクセル株式会社、ゲノムクリニック、ストリームテクノロジー株式会社、株式会社バックテックの4社が出場いたします。アワードは事業の革新性、経済的・社会的影響力、事業の実行力などから審査され、入賞企業は賞金のほか、三井不動産が運営するコワーキングスペースの利用権および、日本の事業進出の展開サポートがうけられます。



AEA はアジア最先端のテクノロジーとアイデアを発展させ、世界的課題を解決するための新産業を創造する場として2012年にスタートしました。昨年参加国に加え、本年はニュージーランドやトルコなどからのベンチャー企業が新たに参画し、日本への進出や国内民間企業との事業展開などに期待を寄せています。

アワードに加え、プログラムでは各国ノミネーション委員によるベンチャー事情の紹介や意見交換を予定しています。また、日本進出のきっかけのひとつとして、日本を代表するスマートシティである柏の葉キャンパスの街づくりに役立つ技術・製品・サービスの採用を検討する「柏の葉賞」も新設しました。さらに、国内企業とベンチャー企業の大規模商談会である「イノベーションリーダーズサミット2017(以下:ILS)」との連携も行い、AEA 枠としてエントリー企業3社が ILS のマッチングプログラムへの参加やブース出展を行います。また、AEA を起点としたグローバルネットワークをより強固なものにするために、過去のAEA 出場企業を集めたトークセッションを初開催します。

AEA では、アジアのベンチャー企業や、大手民間企業から起業支援者まで、産官学が一体となったアジアのイノベーション創造におけるエコシステム(生態系)構築を目指しています。

開催概要

- ・日時：2017年10月25日（水）～27日（金）の3日間 ※27日のみ一般公開
- ・会場：31VENTURES KOIL（千葉県柏市）
柏の葉カンファレンスセンター[KCC]（千葉県柏市）
- ・主催：アジア・アントレプレナーシップ・アワード運営委員会
- ・共催：三井不動産株式会社、国立大学法人東京大学産学協創推進本部、
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ、日本ベンチャー学会
- ・公用語：英語（一部プログラムは日本語または日英同時通訳にて進行）
- ・一般参加：10月27日（金） 一般：5,000円（税込）、学生：2,500円（税込）
※お申し込みは公式ウェブサイト、またはチケット販売サイト Peatix（aea2017.peatix.com）にて受付中
- ・公式HP：<http://aea.events/j/>

プログラム

DAY1(10月25日)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者によるウェルカムパーティ
DAY2(10月26日)	<ul style="list-style-type: none"> ・ノミネーション委員による各国ベンチャー事情紹介 ・スポンサープレゼンテーション ・柏の葉スマートシティプレゼンテーションおよびツアー ・スポンサーとノミネーション委員によるランチミーティング ・メンタリングセッション ・ネットワーキングパーティー
DAY3(10月27日) 一般公開日	<ul style="list-style-type: none"> ・セミファイナルセッション ・過去のAEA出場企業によるトークセッション ・ファイナルセッション（6社） ・特別講演 山海嘉之氏 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授 内閣府 ImPACT 革新的研究開発推進プログラム プログラムマネージャー CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長/CEO ・フェアウェルレセプション、受賞者発表（一般公開なし）

アワード概要

<審査方法>

セミファイナルにてエントリー企業が10分間のプレゼンテーションを行い、上位6社がファイナルに進出。ファイナルでは10分間のプレゼンテーションを行い、公正な審査のうえ各賞受賞者を選出します。

<審査基準>

- (1) 事業の革新性／経済的・社会的影響力（世界経済・社会に変革をもたらす可能性、事業の拡張性）
- (2) 事業の実行力（競争優位性、マネジメントチーム、戦略の全体整合性、プレゼンテーションスキルを含むコミュニケーション能力）

<賞の内容>

- ・優勝企業：賞金 100 万円
 - ・準優勝企業：賞金 50 万円
 - ・第 3 位（日本ニュービジネス協議会連合会賞）：賞金 30 万円
 - ・柏の葉賞：賞金 15 万円 受賞企業の技術・製品・サービスを、柏の葉の街づくりコンセプトへの適合性、実装可能性から判断して採用を検討します。
 - ・ナノキャリア柏の葉賞：賞金 30 万円 柏の葉を拠点に著しい成長を遂げているナノキャリアが、バイオ・メディカル・ライフサイエンス分野における将来性豊かなベンチャー企業 1 社を表彰します。
- ※31VENTURES 賞：上記の受賞企業には副賞として、三井不動産が運営する 31VENTURES オフィスのコワーキングスペース使い放題プランを 2 年間 3 名様に進呈。

エントリー企業一覧

アジア各国にある技術系の起業家育成・支援に注力している大学やインキュベーション施設と連携し、各国のノミネーション委員にてベンチャー企業を選出。今、アジアで最も勢いのある技術系ベンチャー企業が日本に集結し本選に臨みます。 <http://aea.events/j/entry/>

Airbike	オーストラリア	IoT 交通 インフラ
シドニーで初めて導入された特定の駐輪場所を必要としない自転車シェアリングシステム。Airbike は市街地域の移動を迅速、便利、健康的に実現し、利用者に目的地までのラストワンマイルの到達手段を提供します。		
Beijing Qingfan Yuanhang Networking Technology Co. Ltd.	中国	アプリ サービス ソフトウェア
プロジェクト、コンテストやコンペ、ワークショップをクラウドソーシングすることができる組織向けのモバイルイノベーション管理ツールやソリューションを提供しています。		
Beijing Quality Technology Co., Ltd.	中国	AI IoT 環境
ビッグデータと機械学習をベースに小規模な大気質指標（AQI）予測システムをすでに開発しており、現在は人工知能と IoT テクノロジーを基盤にした高性能空気清浄ソリューションを提供しています。		
Zhuhai Ziyun Unmanned Aerial Vehicle Co. Ltd.	中国	ロボティクス
成熟した技術と最先端科学を駆使し、最新のロボット航空基盤の製造に取り組み、無人ヘリコプターなど設計からアプリケーションシステムの開発などロボット航空基盤の製造をしています。		
Claro Energy	インド	環境
インド国内、将来的には世界中の農業灌漑（かんがい）事業（※農地に外部から人工的に水を供給すること）の既存の枠組みを撤廃することを目標に、太陽光による灌漑ソリューションを農業従事者に提供しています。		
Olive Wear Pvt. Ltd.	インド	AI IoT ヘルスケア
医療機器とクラウド技術をベースにしたウェアラブルな IoT 機器を利用し、妊婦をケアするウェアラブル機器、医師のレポート機能も含むパーソナル・アシスタント型の AI ベース・モバイルアプリや IoT を活用した妊娠期ケアを遠隔地で提供しています。		

Sikumis.com	インドネシア	フィンテック 農業
農村やへき地の農業従事者、牧場経営者、小規模農家などの生活を改善するために、農業の流通チェーンの簡素化と縮小化を図るサービスを提供しています。		
QUBIT SECURITY Aubit	韓国	インターネット セキュリティ
リアルタイムでのハッキング検出を可能にするクラウドプラットフォーム「PLURA」を世界で初めて開発。		
KATSANA	マレーシア	交通/インフラ 保険
ドライバーの行動パターンの理解や道路上での実際のリスクをベースにしたドライバーの点数化による、ドライバーの運転技術の向上や自動車保険を提供しています。		
Robotics Plus Ltd.	ニュージーランド	ロボティクス 農業
園芸、農業および林業などの第一次産業のオートメーション化および解析技術をベースにしたソリューションの開発を行ない廃棄物の低減や衛生環境の最適化、あるいは管理力強化に取り組んでいます。		
MR. GEEK MOBILE SOLUTIONS, INC.	フィリピン	アプリ
適切かつ印象の良い高品質のモバイルアプリを無料で作成できる DO-IT-YOUR-OWN 型モバイルアプリプラットフォームを提供中。制作コストを抑えることで、中小企業のアプリ参入のハードルを下げます。		
Webgears WGT	ロシア	インターネット ソフトウェア
工業用アプリケーションやゲーム向けの Web ベースの斬新なインタラクティブ 3D コンテンツをクラウドに移行し、3D モデルとインタラクティブ 3D グラフィックスをより活用しやすくするソフトウェアテクノロジー企業です。		
ViSenze	シンガポール	AI
特許技術のコンピュータービジョンと深層機械学習テクノロジーをベースに、画像認識ソリューションなどを提供。すでにアパレル企業での導入があり、画像や映像を顧客エンゲージメントに変換し、新規の売り上げや売り上げ増加に貢献しています。		
BRAXX Biotech Co., Ltd.	台湾	バイオテクノロジー
アジア地域に集中する食道がんの治療効率を改善し、従来の小線源療法による副作用を防ぐことが可能な画期的なソリューションを開発しています。		
AIM GLOBAL INNOVATION	タイ	ヘルスケア ロボティクス
ロボット工学技術を基盤に生活の質を向上するためのイノベーションを構築。市場参入準備をすすめる自閉症児向けの教育ロボットは自閉症スペクトラム障害をもつ子供たちの学校、家庭におけるトレーニングプログラム作成をサポートします。		
HAN COMPUTER	トルコ	ソフトウェア
コンピュータ環境、防犯カメラシステム、ネットワークインフラ、Web デザインサービス、商用ソフトウェア、教育サービス、システムの導入とメンテナンスなど、SMS 送信サービスと包括的なソリューションを提供しています。		
VP9VN	ベトナム	IoT セキュリティ
世界初のアンドロイド OS ベースのスマート監視カメラを製造。カメラにコンピュータービジョン技術を組み込むことにより、AI 搭載の高度監視カメラを低コストで提供しています。		
LPixel Inc.	日本	ヘルスケア AI
自社開発のアルゴリズムと機械学習を基盤とした、ライフサイエンス領域の画像処理に特化した画像解析ソフトウェアや		

サービスにより、がんや病気の検出を目的とした医療画像診断支援システムを発展させています。		
Genome Clinic	日本	ヘルスケア
疾患未発症の一般の方を対象として、次世代シーケンサーを用いた個人ゲノム解析を行い、複数の疾患リスクを判定する研究を実施しています。		
Stream Technology	日本	ソフトウェア
人工知能のアプリケーションを作る上で重要となる高性能なデータ圧縮技術といった中核技術を保有しています。		
BackTech Inc.	日本	ヘルスケア アプリ
慢性的な腰痛に伴う不安感・恐怖感を解消するため、腰痛タイプの診断やオーダーメイドプログラムを提供するアプリを提供しています。		

〈過去の優勝企業〉

- ・ 2016年 BorderPass (マレーシア) 入国審査用紙をデータ化し空港での入国審査を迅速にするサービス
<http://borderpass.com/>
- ・ 2015年 株式会社サイフューズ (日本) バイオ 3D プリンターの開発
<http://www.cyfusebio.com/>
- ・ 2014年 T.Ware Pte. Ltd. (シンガポール) 自閉症患者向けのウェアラブルデバイス開発
<http://www.mytjacket.com/>
- ・ 2013年 CONNEX SYSTEMS 株式会社 (日本) 安全性と高エネルギー密度を両立した蓄電システム開発
http://www.connexsys.com/ja/ja_home.html
- ・ 2012年 Cleabridge BioMedics Pte. Ltd. (シンガポール) 次世代がん診断装置開発
<http://www.clearbridgebiomedics.com/>

協賛・後援企業一覧

〈協賛〉

プラチナスポンサー：グローバル・ブレイン株式会社、株式会社日立製作所、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント

ゴールドスポンサー：株式会社電通、株式会社東京大学エッジキャピタル

シルバースポンサー：株式会社三菱東京UFJ銀行、阪急電鉄株式会社、株式会社ICMG、株式会社みずほ銀行、日本ベンチャーキャピタル株式会社、三井住友信託銀行株式会社、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社、公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会、ナノキャリア株式会社、株式会社インディージャパン

〈後援〉

文部科学省、千葉県、柏市、公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー、一般社団法人日本経済団体連合会、国立研究開発法人科学技術振興機構、独立行政法人日本貿易振興機構、一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会、一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター、公益財団法人日本デザイン振興会

共催企業・団体一覧

<三井不動産株式会社> [WEB] <http://www.kashiwanoha-smartcity.com/> <http://www.31ventures.jp/>

三井不動産は、千葉県柏市の柏の葉キャンパス駅周辺エリアにおいて、世界の課題を解決する街づくりモデルを創出することを目指し、環境共生・健康長寿・新産業創造の3つのテーマのもと、柏の葉スマートシティ事業を進めています。新産業創造においては、ベンチャー共創事業「31VENTURES」を中心に、三井不動産の持つ幅広い商圏と多岐にわたる事業領域をいかして、街全体で多世代・多分野・多国籍の人々がつながる新たな産業創造を目指しています。

三井不動産および柏の葉スマートシティでは、2012年の立ち上げ時からAEAを支援しており、柏の葉を舞台にアジアのベンチャー企業や大手企業・起業支援者が集まるイノベーション創造のエコシステム構築を進めてまいります。

<国立大学法人東京大学産学協創推進本部> [WEB] <http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/>

東京大学産学協創推進本部は、東京大学のオリジナルな研究成果を活用し、インパクトの高いイノベーションを実現すべく、知的財産の権利化、管理・活用、起業・事業化に係る支援を行っています。具体的には、研究者・学生向けの起業相談、ベンチャー企業向けのインキュベーション施設の運営・管理事業、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社や株式会社東京大学エッジキャピタルを通じた資金提供（ベンチャーキャピタル）などを行っています。また、「東京大学アントレプレナー道場」「EDGE-NEXT」「本郷テックガレージ」などのアントレプレナー育成教育プログラムを運営しています。本アワードを通じて、グローバルな視点に立ってさらなる起業文化・アントレプレナーシップの醸成を進めてまいります。

東京大学産学協創推進本部へのお問い合わせ 各務 Tel:03-5841-1482

<一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ> [WEB] <http://www.tepweb.jp/>

TXアントレプレナーパートナーズは、つくばエクスプレス沿線を中心に起業家やベンチャー企業の支援活動を行う組織で、地域の大学、研究機関、行政、民間企業、個人支援者が連携して、持続可能なベンチャー支援のネットワーク構築を進めています。起業家が自国・地域内に留まらずアジアや世界に視野を広げる機会として本アワードを開催し、日本をはじめアジアの創業育成環境をより一層醸成していきます。

<日本ベンチャー学会> [WEB] <http://www.venture-ac.ne.jp/>

日本ベンチャー学会は、新産業創出にむけて、ベンチャー企業および一般企業における企業活動等について理論・実証・実践に関する研修を行うとともに、産学協同の推進および企業家活動の支援に寄与することを目的とします。単なる研究者だけの集まりではなく、大手企業、ベンチャー企業、行政関係者など多様な人々のネットワークを形成しながら、「思考する学会」であると同時に「行動する学会」としての機能を高め、イノベーションの創出を担う企業家活動やベンチャーに関わる社会的なプラットフォームとなることを目指しております。

<一般の方からのお問い合わせ先> AEA2017 運営事務局 Mail : aea2017@aea.events

<報道関係の方からのお問い合わせ先> 広報事務局 Tel:03-6759-8989、Mail : aea@storydesign-h.com